

## 平成27年国勢調査 抽出速報集計結果(沖縄県) 要 約

### 本要約について

平成 27 年国勢調査抽出速報集計による結果が、平成 28 年 6 月 29 日に総務省より公表されました。本要約は、そのうち沖縄県分をとりまとめたものです。

### 利用上の注意

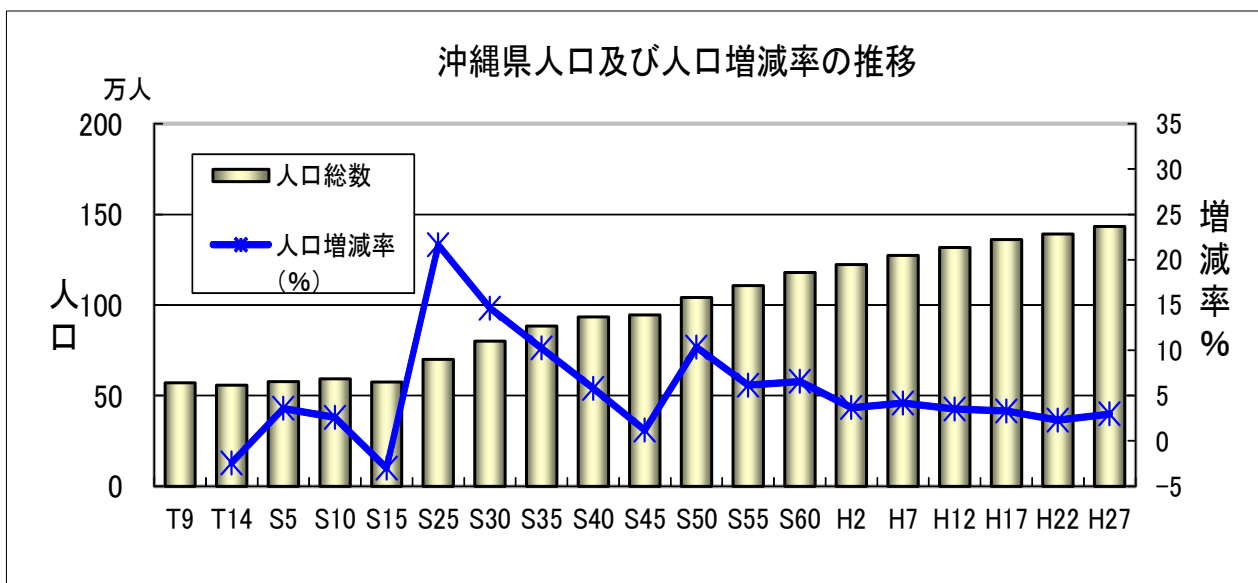
抽出速報集計は、国勢調査の主要な結果を早期に集計するものです。この結果によって、我が国の人口と世帯の全体像を把握することができます。すべての調査項目についての集計結果を早期に提供するために、偏りが発生しないような統計的手法により抽出した全世帯の 100 分の 1 の世帯の調査票を用いて集計しています。そのため、今後公表される全数集計による結果数値とは必ずしも一致しません。

## 1. 人口

○平成 27 年国勢調査抽出速報集計結果(以下「抽出速報集計」という。)では、平成 27 年 10 月 1 日現在、本県の人口は 1,434,100 人で、平成 22 年国勢調査(以下「前回調査」という。)から増加した。なお、全国の人口は 1 億 2711 万人で、前回調査に比べて減少した。

○本県の人口を男女別に見ると、男性が 704,500 人(県の総人口に占める割合 49.1%)、女性が 729,600 人(同 50.9%)となっている。

○本県の人口増加率は前回調査を上回り 3.0 %となったが、人口の伸びは昭和 55 年以降鈍化してきている。



## 2. 人口構造

○本県の15歳未満人口は243,600人で、前回調査より減少し、総人口に占める割合は、前回調査から低下して17.2%になったが、全国では最も高い値となっている。

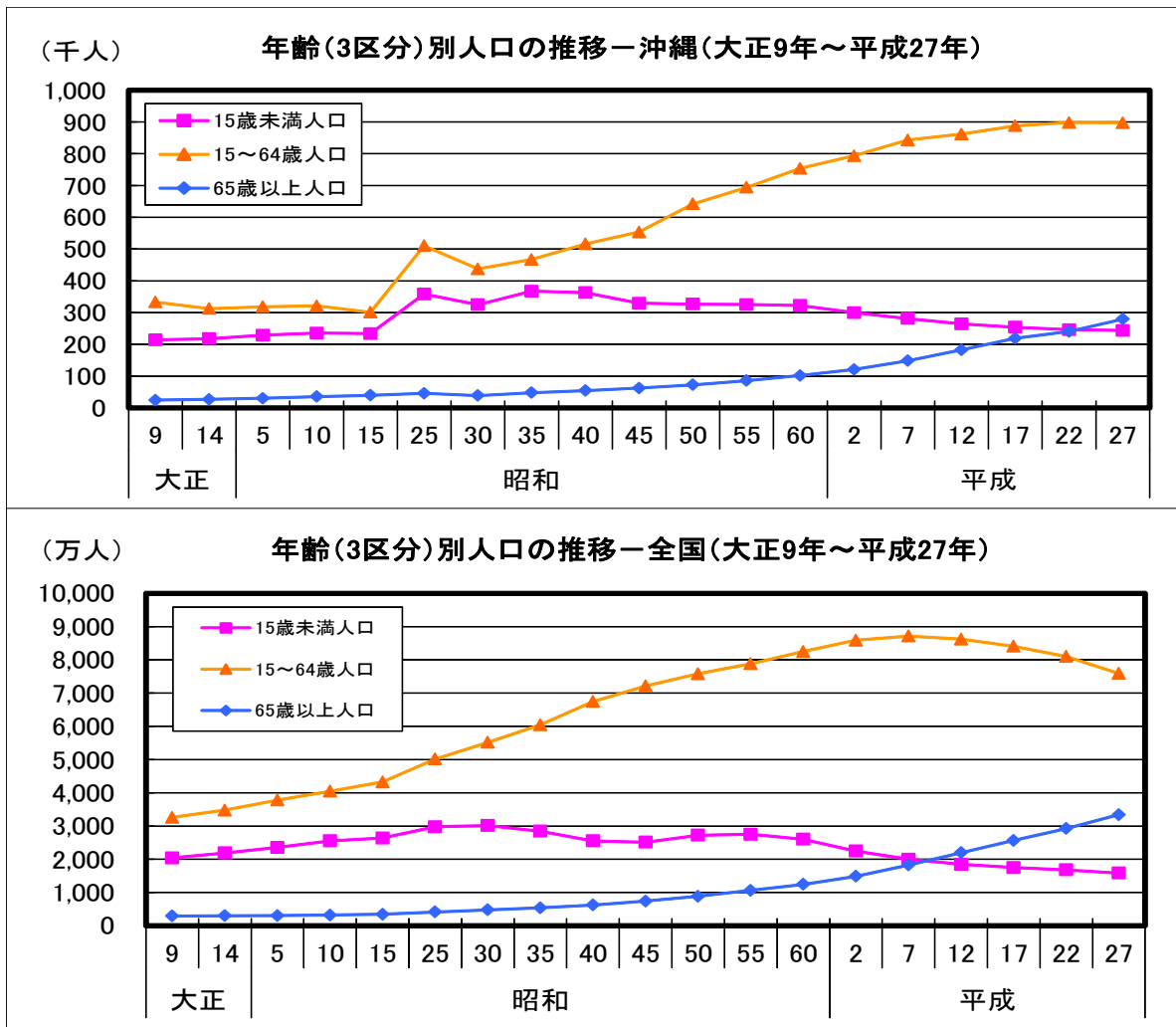
○15～64歳人口は、897,400人で、前回調査より減少し、総人口に占める割合は前回調査から低下して63.2%となったが、全国では東京都、神奈川県に次ぐ3番目に高い値となっている。

○65歳以上人口は、279,400人で、前回調査より増加し、総人口に占める割合は、前回調査から上昇して19.7%となったが、全国では最も低い値となっている。

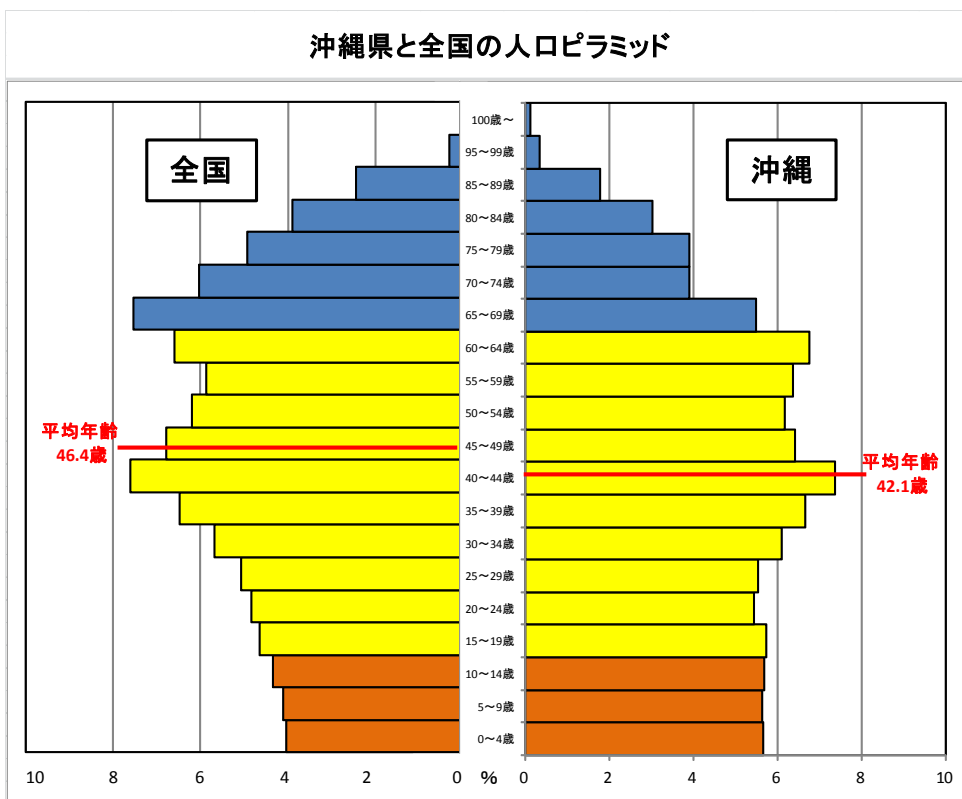
○年齢(3区分)別人口の推移をみると、15歳未満人口は昭和35年の約37万人をピークに減少し続けている。

15～64歳人口は昭和30年から増加を続けていたが、今回減少に転じた。

65歳以上人口は昭和30年から増加し続けており、大正9年の調査開始以来、初めて15歳未満人口を上回って全国から遅れて沖縄でも少子高齢化が進行していることがわかる。



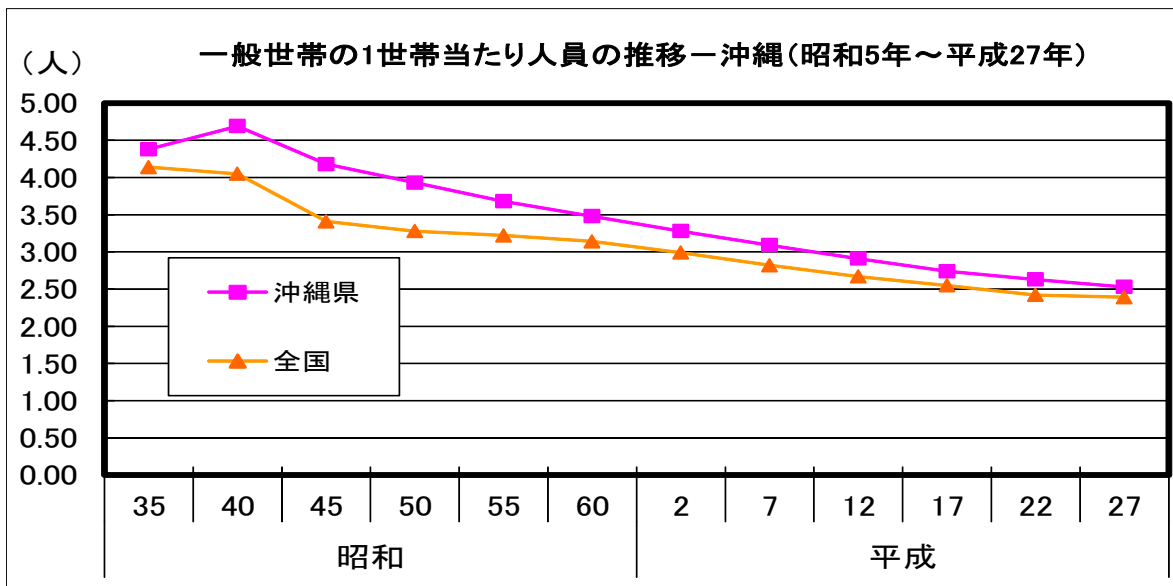
○本県の平均年齢は 42.1 歳で、全国で 1 番低い。これは合計特殊出生率が全国一高い本県の年少人口比率が全国平均よりも高く、また、沖縄戦と終戦前後における出生減少により 65 歳以上人口比率が全国平均を大きく下回っていることによるものである。



### 3. 世帯の状況

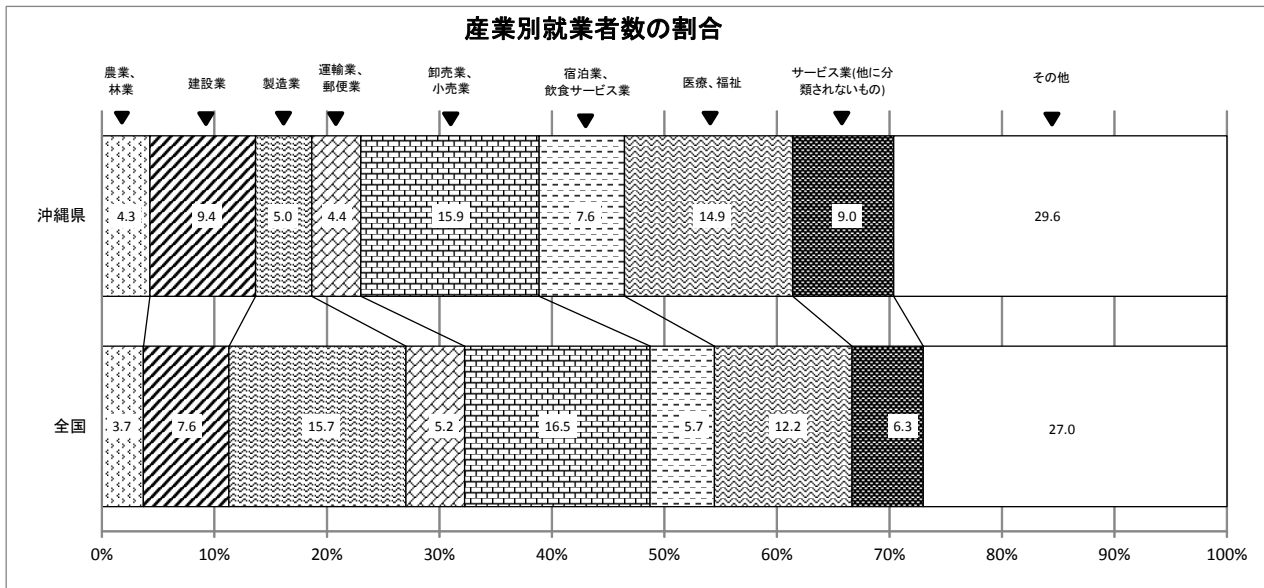
○平成 27 年 10 月 1 日現在、本県の一般世帯数は 552,250 世帯で、前回調査から増加した。

○一般世帯の 1 世帯あたり人員は、2.53 人で、前回調査と比べて減少し、世帯人員が 1 人及び 2 人の世帯が増加数・増加率ともに高く、全国同様に核家族化が進んでいるとみられる。



#### 4. 就業の状況

○沖縄県の15歳以上就業者について、産業大分類別の割合をみると、「卸売業、小売業」が15.9%と最も高く、次いで「医療、福祉」が14.9%、「建設業」が9.4%などとなっている。



※「その他」に含まれるのは、「漁業」、「鉱業、採石業、砂利採取業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「金融業、保険業」、「不動産業、物品賃貸業」、「学術研究、専門・技術サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「複合サービス事業」、「公務(他に分類されるものを除く)」、「分類不能の産業」である。

沖縄県企画部統計課  
 人口会統計班  
 国勢調査担当  
 TEL 098-866-2050  
 FAX 098-866-2056